

迎春



広報 たかのす

'95 1/1

今年は亥年

今年は亥年 十二支の最後の干支です。

干支は中国から伝わりましたが、中国ではイノシシではなくブタの絵を見かけます。

イノシシは、日本では北海道、東北、北陸の一部を除いた広い範囲に分布しています。

イノシシは、猪首という言葉があるように、首が短い独特の体形をしています。口吻（口先、口元）が長く、その先に円盤状の鼻鏡があります。

首から背にかけての剛毛は怒ると立つので、怒り毛と呼ばれます。雑食で、キノコやタケノコなどの植物と、ヘビやカエル、ミミズなどの動物を食べます。

また、イノシシは夜間に食を求めて人里に現れ、栗や芋、稲などを食べてしまいます。

芋は鼻鏡を巧みに使って掘り起こし、栗はきばで穴を開けて食べます。さらに、ぬたを打つ」といって、体に泥を塗る習性があり、田んぼを荒らすこともしばしばです。このため、人間はイノシシを害

獣とし、畑や田んぼに垣などをめぐらし、イノシシの侵入を防ぎます。

人間は、昔からイノシシをさまざまなに利用してきました。肉は獣肉を食べなかつた時代から、山くじら」と呼んで食べてきました。毛はブラシに、歯は印材に、胃液はマムシにかまれたときに使ったと



いいます。皮は靴用に使われましたが、それは怒り毛で縫ったようです。

イノシシといえば、「猪突猛進」という言葉を連想します。でも、今はゆとりの時代です。暮らしにメリハリをつけ、猪突猛進をしたなら、ゆつくり休むようにしたいものですね。

カルチャー & スポーツ

ミニガイド

ファルコン

1・7(土)

ルンビニ幼稚園

ピアノ教室・ピアノ発表会

入場/無料

1・9(月)

鷹巣町教育研究発表会

入場/関係者

※詳しいことはファルコン(62-3311)まで

スポーツ

1・1(日)

元旦マラソン役場前スタート

1・22(日)

受付9時、スタート10時30分

2階堂杯テニス大会

鷹巣体育館

1・29(日)

第33回町民スキー大会

開会式9時

町営業師山スキー場

〔平成7年1月〕

1・日	元旦、年賀、元旦マラソン
2・月	振替休日
3・火	
4・水	官庁仕事始め・消防団出初式
5・木	
6・金	小寒・新春交流会(商工婦人部・中央公民館)
7・土	七草
8・日	
9・月	
10・火	一一〇番の日
11・水	鏡開き
12・木	
13・金	
14・土	
15・日	成人の日
16・月	振替休日
17・火	
18・水	
19・木	
20・金	大寒
21・土	
22・日	
23・月	
24・火	
25・水	
26・木	
27・金	
28・土	
29・日	町民スキー大会(町営業師山スキー場)
30・月	
31・火	

謹賀新年

——新時代に向かって（町村合併四十周年）——



あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、冷夏の予想に反し猛暑の中、水稲は順調な成育をみせ作況指数「一〇三」

という豊作の年となったことから、農家の方々をはじめ町民の皆様の中に、明るさと

笑顔がもどり、本当によかったと思っております。また、町民の皆様にはいつも温か

い町政への励ましやご協力を頂き、職員と共に改めて深く感謝申し上げます。

さて、これからの町づくりのあり方や方向性をみいだすために、数多くの町民の皆様

の参加による「まちづくり町民会議」「福祉のまちづくりワーキング」「ヤングマン

テール」「文化を進める会」、その他各種委員会を設置しましたが、貴重なご意見

やご提言は、大きな指標になるものと考え、今後とも推進してまいります。

また、一昨年より改築を進めてまいりました鷹巣中学校は本年二月に完成予定であ

り、福祉サテライト計画の二号施設であります地域福祉センター（宮前町）など一連

の建設事業も順調に推移しております。

大館能代空港も昨年より本体土木工事が着工となり、平成十年開港に向け空港アク

セス道や関連道の整備、周辺開発計画等も着々と具体化してきております。

本年は、基幹産業である農林業をはじめ商工業の振興、若者の定住対策や雇用促進

のための県営工業団地並びに勤労者住宅の実現促進、公共下水道事業、農業集落排水

事業、廃棄物対策など生活環境の整備に努めてまいります。

さらに、県北部の観光中継拠点としての大太鼓の館周辺整備拡充、在宅ケアサービス

の充実や地域福祉サテライト施設の整備など福祉政策の推進、教育、文化の振興等、

二十一世紀を展望した「活力と魅力あふれる快適なまちづくり」を目指し、町村合併

四十周年という輝かしい節目を迎える本年を、「たかのす新時代」実現に向かって最

も重要な時と位置づけ、「主人公」である町民の皆様と一緒に町づくりを進め

てまいる覚悟であります。

年頭にあたり、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、本年も格段の

お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成七年 元旦

鷹巣町長 岩川 徹

一九九五年は亥年。亥とはイノシシのことを意味します。「猪突猛進」(脇目もふらず、まっすぐ進むこと)の言葉のように、鷹巣町に住む皆さんが「魅力あるまちづくり」に向け、力強い第一歩を踏みだす年にしたいものです。



若者の定住と魅力ある まちづくりをめざして



新しい年一九九五年の幕開けです。今、鷹巣町は平成十年開港予定の「大館能代空港を核にした魅力あるまちづくり」と、この町に住むだれもが安心して暮らしていけるための「福祉のまちづくり」を柱に、新しい明日に向かって邁進(まいじん)しています。そして、輝かしい未来の鷹巣町をつくるには、まちづくりへの町民の参加と協力が最も大切であり、とりわけ若者がその中心になって支えていかなければなりません。

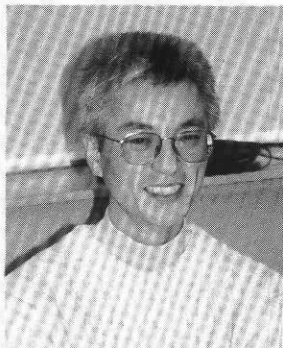
毎年、高卒者の六割が町外へ流出し、若者の減少が人口減の一つの原因になっています。こうした状況からみても、若者の定住は大きな課題であり、都市を除いて全国的な社会問題にもなっています。

新年号特集新春座談会では、「若者の定住と魅力あるまちづくり」をテーマに六人の町民の方々と町長が語り合いましたので、ご紹介します。

座談会

出席者

(順不同)



小林 誠さん(綴子・糠沢)
楽器(フルート)製作

・埼玉県から鷹巣へ、仕事のかたわら太鼓グループに参加するなど地域にとけこむ。



成田 聖子さん(坊沢・深関)

北秋中央病院勤務(助産婦)

・青年会活動や町の各種イベントへ積極的に参加する活動派。

(司会者)

伊藤倫子さん(栄・あけぼの町)

・元中学校教諭・現在北教育事務所
家庭教育カウンセラー



司会 皆さん、あけましておめでとうございます。

出席者一同 おめでとうございます。

司会 それでは、早速五人の皆さんから順にご自分を紹介しながら、「今の鷹巣町をどう思われているのか」述べていただきます。

野宮 鷹巣生まれの鷹巣育ちですが、二年程都会での生活を経験しまして、こちらに帰って二十五歳の時に脱サラして喫茶店をやり、もう十五年目です。趣味は魚釣りと自然科学的な分野ですが、具体的にいうと、今年「八丁トンボ」(世界最小種のトンボ)を観察し、来年は「ホタル」をテーマにしようと思っっています。

シテイボーイじゃなくアウトドア派の自分ですが、町について普段感じていいることは、「鷹巣の人は、他人のことを批判はしても、誉めることが苦手かな」ということです。いいところを

見つけて、誉めてやるのが大事だと思っんですが……。

小林 私は一昨年埼玉県坂戸市からこちらに引越して来て、妻と一緒に「フルート」の製作をやっています。鹿角市の出身ですが、両親が糠沢に住んでいた関係で来た訳です。横浜市出身の妻と全く知らない土地に来て、不安はあったものの、妻は町の陶芸教室に、私は祇園太鼓に参加したりして、いろいろな人と知り合えて、とてもおもしろい町に来たと喜んでいきます。

ただ、町の第一印象は「老人が多く若い人が少ないなあ」ということでした。でも、その老人がすごく元気でパワーがあるのには驚いています。

成田 私は助産婦として地元の病院に勤務していますが、学校を卒業して鷹巣に来た時から、ずっと青年会に入っ活動しています。人と知り合うことが好きな性分ですから、イベントなどにも楽しく参加しています。

町について思うことは、お年寄りがどんどん増えているので、高齢福祉に力を入れておりますが、さらにそうしたお年寄りを支える次世代の人たちのための施策もいろいろ考えて欲しいと思っっています。

畠山 農林高校から宮農大に進み、卒業後就農して六年目になります。

水田七(七)と夏秋きゅうり十五(十五)などを栽培していましたが、一昨年からは花き(トルコききょうとすかしユリ)の栽培も家族四人で取り組んでいます。

他で生活した経験がないので、近隣の市町村と比較すると、町にはいろいろな施設がありますが、若者が気軽に交流できる場がないことと、子ども連れで家族で楽しめる場所、遊べる場所がないと思います。既存の施設でも利用の仕方を工夫すればできると思っますが……。

野村 東京の金融機関に三年間勤めましたが、その後Uターンして地元のグリーンメイトジャパンに事務職として就職して、現在に至っています。

今の鷹巣町について感じていることは、ふるさと踊りや餅つこまつりをはじめいろいろなイベントがありますが、若い人たちの参加が少なく、都会と比較すると、若い人にもあまり元気がないような気がします。もっと若い人に活気のある町であって欲しいと思います。

「やる気」ある若者が行動を起すキッカケが必要

司会 ずっとこの町に住んでいる人、都会での生活経験者がそれぞれの立場で今の鷹巣町について述べてもらいましたが、そろそろ本題に入ります。若者に頑張ってもらわないとこの先町がどうなるのか、と町民のだれもが心配していると思っます。若者の町外への流出を抑え、また、いったんこの町を離れた若者が「やはり都会よりもふるさとの鷹巣がいいな」と思っ帰っくるなど、いわゆる若者の定住を進め



畠山義直さん(沢口・藤株) 農業

・水田のほか、花きの栽培にも情熱を燃やす農業後継者のひとり。



野村富士子さん(南鷹巣) (株)グリーンメイトジャパン勤務

・Uターン後、地元アパレル企業へ、若者ももっと元気な町に、と熱く語る。



野宮徳太郎さん(旭町) 喫茶「コーヒーポット」自営

・釣り好きで自然を愛するアウトドア派。町のいいところ探そうよ、と熱弁。

るために、どうすればいいのか、一般論ではなく、皆さんなりの意見や提言をうかがいたいと思います。

野宮 若者の定住は、非常に難しいテーマで、「これだ」というのは簡単に見つかりませんが、私はまず、仕事をしないと生活が出来ませんので、経済的な理由が大きな問題ではないかと思っています。そのために企業の誘致も必要でしょう。しかし、それだけでは解決しません。畠山さんのように農業でも他のいろいろな事業を含めて、町の中から「成功者」を出すこともひとつの方法ではないでしょうか。そのために町も町民の人たちもみんなが応援してやって欲しいと思います。

小林 野宮さんの言われたことも良く分かりますが、成功者を出す前提として、まずやろうとする人がいるかいないかが問題ではないでしょうか。

町の若い人はみんなそれぞれ「やる気」はあると思います。でも、率先してやる人がいない。だから、そのキッカケづくりが必要です。

また、この町にも周辺の町にも働く場所は確保できると思いますが、自分がやりたい職種がない。いろんな可能性を持っている若者だから、私は自分のやりたいことのために町から出て行くのは仕方ないと思うのですが……。

司会 確かに都会と比較すると職種は少ないでしょう。これは、地方に共通した悩みですが、しかし、どこの市町村も企業の誘致で若者の雇用の場を確

保しようと頑張っています。

それでは、都会と比べて鷹巣町にはこういういいところがある、だから出ていっても何年かしたらUターンしてくるように、都会からこの町に引き寄せるには、という観点からどうでしょうか。

小林 町のイメージづくりも必要ではないでしょうか。

鷹巣といえば大太鼓ですが、大太鼓の里もまだ「点」だけで広がりが少ないように思います。それから、町を売り込むPRもあまりないような気がします。せっかく空港ができる町なので、観光客に素通りされないようにしなければならぬと思います……。

野村 町の花は「ひまわり」ですね。大太鼓の町や太陽に向けて伸びていくというイメージで、このひまわりを全町で栽培して、ひまわり油などを特産品にするというこだわりも必要じゃないでしょうか。

成田 若者の定住のためにはまず、企業誘致などで働く場を確保して、若い人が楽しめるレジャー施設があればという話をよく聞きますが、果たしてそれだけで若者は地元に残るでしょうか。職種の問題もさることながら、文化的な面や憧れも手伝ってどうしても一度はむこう（都会）で暮らしてみたいという人も沢山おり、仕方ない部分があると思います。

でも、そうした人たちが鷹巣に帰って来たいと思った時に、どう受け入れ

るか、その態勢づくりがとても大事ではないでしょうか。

また、看護学校時代の話ですが、角館出身の友達が地元のお祭りになると参加するために必ず実家に帰りました。鷹巣にも大太鼓やいろいろな太鼓グループがあったりお祭りがあっても、まだそこまではいっていないようです。もっとみんなが参加する祭りなど、ふるさととのつながりを持たせたらどうかと思います。

野宮 小林さんの例のように、技術を身につけてこの町に来た人がいますから、町出身者をはじめ全国に向けて「鷹巣はこんないい町、この町に来てみませんか」とアピールしてもいいのでは……、そういうのが足りないですね。

畠山 若い人の仲間づくりにもっと力を入れることも必要だと思っています。例えば、若奥さんたちが子どもを連れて情報交換のために集まる場所がないし、若い人たちが交流できる機会も少ないです。

**鷹巣町のいいところをみんな
で探しましょうよ！**

司会 平成十年には大館能代空港が開港しますが、それをキッカケに頑張ろうとしている町なので、若者に限らずみんなにとって「魅力ある町」ってどんな町でしょうか。アイディアや町に

対する要望がありましたらどうぞ。
野村 空港ができるので、観光客が沢

山来てくれればと思っっていますが、そのためには、空港と観光地をうまく結ぶことが必要です。例えば、森吉山という大型スキー場と一時間以内の位置にあるので、おもしろいツアーパックを考えて誘客できないでしょうか。

また、町に特徴のあるホテルやロッジなどの宿泊施設をつくって、そこから囲りのいろいろな観光地へ観光に行くように、町にも波及効果を期待したいですね。

野宮 「鷹巣町のいいところを探しましょうよ！」町の人たちがみんな呼びかけて、それぞれ得意な分野でグループをつくって、それに役場から一人ずつついてもらって、鷹巣町の優れているところ、足りないところを徹底的に調べてみることを提案します。

例えば、「鳥類だけの自然観察会」や「鷹巣町の野草の種類と分布を調べる会」など、あらゆることを調べてみると全国に、いや世界にアピールできるようなものが見つかるかもしれないと思います。

私は町の漁協にも入っていますが、淡水魚しかいないこの町にも、大変珍しい魚が発見されたということが二例ほどありますし、野草もマイヅルテンナンショウなど珍しいものがあります。

大太鼓だけではなく、自然を売り込んで、「鷹巣のここを、これをぜ

ひ見に来てください」と言えるものを発掘したいですね。

小林 本当にこの辺りの自然は誇れると思いますよ。昨年春、公民館が主催した「カタクリを観る会」に参加しましたが、とてもすばらしかったですね。ただ、参加した中で若い人は国際交流員のリアンさんただ一人で、あまり他の人と年齢差があり過ぎて、次から参加しにくかったですね。

野村 空港ができるまで空港は勿論空の玄関口ですが、もうひとつの町の顔は鷹巣駅だと思っています。そういう点で駅を中心に、その周辺の開発や整備も魅力あるまちづくりにつながるのではないのでしょうか。

司会 野村さんのご意見に関連して、やはり駅とその周辺についての考え方は大変大事だと思います。私だったらバスターミナルも駅周辺に移動させて、近隣の町村から電車で来た人も、バスで来た人も、駐車場があれば車の人も駅からバスで空港に行ったり、商店街に行ったり、公園が待ち合わせや憩いの場になったりと、何かと便利ではないかと思うんですが……。

成田 魅力あるまちづくりや若者の定住については、施設をつくるなどのハード面も必要ですが、私は女性の立場や若い人の育児のことを考えて、いろいろな政策を行うことも大事ではないかと思っています。

女性は、結婚して子どもができると育児を中心にいろいろな面で大変にな

ります。そこで、どうしても子どもを連れて行けない場合や、家で介護しなければならぬ人がいて時間的に何時間か育児ができない時など、いつでも預けることができる託児所があればとても便利ですね。いろいろな面で住みやすい町というのも大きな魅力だと思います。

司会 育児のことについての提言でしたが、実は町の公民館で育児ボランティア講座を受けた方たちが役立ちたいということ、私たちが関係しているスギの家庭教育セミナーの講演と分科会の時に、小さいお子さん連れの若いお母さんたちが参加している間みで、来て皆さんからとても喜ばれました。

島山 温泉も欲しいですね。藤里町にもホテルと一緒にあったのができまして、町の名前が売れるような、そこに行けば何でもあって、家族で楽しめるデッカーイのが欲しいですね。空港もできることですし……。

小林 一昨年こちらに引越して来まして家（ログハウス）を建てたんですが、鹿角市や秋田市などではAターンしてきた人いろいろな優遇制度があると聞いていたものですから、役場に問い合わせしてみました。そしたら、鷹巣町には何もないということなんです。優遇制度だけあてにして来る人はいないと思うんですが、初めての土地で不安な気持ちで来る訳ですから、何かはあってもいいと思います。

若者が町に愛着をもって行動する エネルギーの大小が決め手

司会 皆さんからいろいろな提言などをお話いただきましたが、最後に町長さんから感想を述べていただきたいと思ひます。

町長 今日は町を思う皆さんの大変ご熱心なお話をうかがうことができて、非常にうれしく思っています。

まず、小林さんのお話でAターンして来られたが町に優遇制度がないということでしたが、Aターンを含めた若者の定住を促進する制度については、現在担当課で検討中でして、今年度中には条例化したということで作業を進めております。

また、野村さんのお話にありました駅周辺の開発についても、空港のある町にふさわしい町の玄関口として、商店街の整備と併せた駅前再開発の検討を行っております。

さて、若者の定住と魅力あるまちづくりをめざしてということですが、例えば、職場があつて、住宅が確保でき、遊ぶところや文化施設、福祉施設などがある程度満足できるように整備されたとして、果たして、それだけで定住するかというと大変難しいと思ひます。

大事なことは、「この町は自分のものだ」という町や地域に対する愛着があるかどうかということ。そし

て、そうした意識を積極的に行動に移した時のエネルギーの大小が決めてになると思います。個々の人生観、価値観はそれぞれ違うので、みんなが地元に残って、または帰って来てという訳にはいきませんが、この町を自分も何らかの形で参加して魅力ある町につくっていくという意識が若い人たちに育って欲しいと思っています。

最後に、高齢者福祉について少し説明しますが、町が取り組んでいる福祉のまちづくりは高齢者だけのものではなく、安心して老後を迎える社会システムがこれまで確立されていなかったことから、家族、特に女性の仕事だった介護を社会全体で支えていくことによって、女性や若い人を解放する政策でもあることをご理解いただきたいと思います。

司会 「ただ空港ができて便利ですよ」とか「自然がきれいですよ」では人を引きつけないと思います。この町がさらに魅力ある町になっていくために、若者がどんどん増えていくように小学生から老人まで、それぞれの観点で町のいいものを、誇れるものを探してみることを私からも提案します。

今年を「鷹巣町のいいところ再発見」の年にしましょう。
では、皆さんのご活躍をお祈りいたします。

今日は、ありがとうございました。

行政報告

平成六年十二月定例議会は、十二月十二日から二十二日までの会期で開かれました。議会初日には町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われ、十四日、十五日が一般質問、十六日から各常任委員会へ付託議案等を審議し、二十二日閉会しました。今号では、十二月定例議会の行政報告（一部次号掲載）の概要をお知らせします。

地域政策課関係

平成八年度から新たにスタートする「鷹巣町新総合発展計画」の策定については、策定委員等の委嘱を行い、21世紀を展望した新しい時代の「活力と魅力あふれる快適なまちづくり」を目指して策定作業に入りました。

米代川流域地方拠点都市の整備については、「ふるさと市町村圏基金」の創設と「ふるさと市町村圏広域活動計画」の策定に取り組んでおり、さらにソフト事業を推進してまいります。

三年目となるまちづくり町民会議は、これまでの提言等におお一層の検討を加えるため、三十八名の委員により産業・生活環境・文化の三部門編成で活動を開始しました。

ヤングアフター5委員会は、十五名のワーク委員が「若者の定住と魅力あるまちづくり」に向け活動しています。現在「飲食店タウン情報誌」作成のため現地調査に取り組みしております。

第七回東京鷹巣会総会が、十月三十日東京都内のデパートで二百十名が参加して盛大に開催されました。町からは永井副議長をはじめ、商工会、農協、観光協会、物産協会、町関係者などのほか、竜森地区郷土芸能研究会のメンバーも参加し、アトラクションで「上舟木駒踊り」を披露して喜ばれるなど交流を通じ、ふるさととの絆を深めてまいりました。

ホークスサミットの五市町

が民間交流の試みとして三鷹市を会場に「ホークス物産展」

空港推進課関係

大館能代空港の今年度事業分の十一月末現在の進捗率は約七十割で、盛り土試験地は完成しました。

大館能代空港整備等交通安全対策協議会は、建設工事による交通事故の防止と地区住民の生活環境の保全を図りながら事業を円滑に推進していく目的で、九月二十九日設立されました。

十月二十一日、佐々木知事や松尾運輸事務次官をはじめ約三百人が出席して、修破式と起工式が行われましたが、町でも中央公民館において町民約二百五十人が参加し「大館能代空港着工を祝う会」を盛大に行いました。これまでの運動の成果である着工を祝うとともに、空港を核とした地域発展に向け、結集してい

を開催し、当町の特産品も好評でありました。

くことを誓い合いました。その他産業祭への「空港展」の参加、阿仁部町村長とともに国への来年度予算陳情や東京航空局へ管制、気象等職員 の宿舎を当町へ設置するよう要望しております。

財産管理課関係

平崎上岱地内の宅地造成事業は、十五区画四千三百五十五平方メートルの分譲地と道路・緑地及び会館敷地等の造成工事が完成しました。一月中に公

です。

鷹巣神社よりの借用地については、十月二十七日、等価交換による協定書を締結しました。



住民生活課関係

秋の全国交通安全運動は、九月二十一日から三十日まで実施され、高齢者を対象に交通安全教室を開催し、交通事故防止を呼びかけました。

全国防犯運動期間中の十月三日、車輛によるパレードで町内を巡回し、町民総ぐるみの「犯罪のない明るい町づくり」を呼びかけました。

秋の火災予防運動は、十一月六日から十二日まで実施され、期間中防火施設の点検や消火機器の点検と、広報車による火災予防思想の普及に努めました。また、第七分団（沢口地区）に、十一月三十日ポンプ車を更新しております。

「第十七回クリーンふるさとデー」は、九月十八日早朝、町民約三千八百名の協力を得て行われ、収集された約二十五・五トのゴミは埋め立て処分しました。

福祉保健課関係

竜森地区コミュニティセンター周辺環境整備事業が十月十九日完成し、竣工記念のゲートボール大会が開催されました。

心身障害児通園施設「もろ

栄字徳左工門谷地地内の「ゴミ埋立地」は、近年一般家庭や事業所等から搬入されるゴミの量が急激に増え、埋立地の寿命が極端に短くなるため、同地内にゴミ焼却炉を設置し、十月三日から焼却処理しております。これに伴い、搬入されるゴミについて「燃やせるもの」「燃やせないもの」の分別を再指導しながら、今後ともゴミ減量策に努めてまいります。



びごども園」開園一周年を記念して、「地域療育を考える集い」が行われました。

住みよい福祉のまちづくり事業による児童公園障害者一般トイレ設置工事は、各団体

からなる検討委員会で位置等を決定し、十二月工事発注の予定です。

平成六年度鷹巣町社会福祉研修大会は、十一月二十五日鷹巣町痴呆ねたきり予防集会和同時開催され、各単位老人クラブで行われていた「金婚表彰」を全町一本化で行いました。

福祉総合整備事業のサテライト計画第二号施設「地域福祉センター」は、来年九月の竣工を目指し工事に着手しました。

恒例の敬老式は、九月八日から十八日までの間、町内八会場で開催され、千五百五十三名の参加がありました。

第二回老人福祉大会は、約四百三十名が参加し、十一月十八日行われ、席上ダイヤモンド婚夫妻二十三組、町老人クラブ連合会長表彰七名などの表彰と講演会で盛会裡に終了しました。

地域ぐるみで健康づくりの意識を高める目的で六月から開催した第二十二回健康大学は、栄地区で五回実施され、延べ約三百人の受講がありました。

今年度の集団検診は、前年対比で基本検診の二百割を筆

頭にのき並みに増え、検診結果に基づく事後指導も、前年の四・八倍にあたる八百六十八人に対して個別に実施しました。

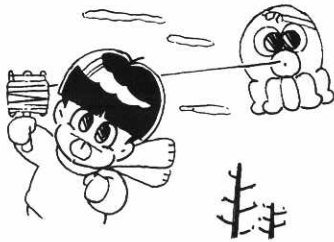
四月から九月までの医療費の状況は、前年度と比較して八千六百七十四万七千円（二十・五六割）の増となりました。その主な原因は、老人医療費に係る大幅な伸びによるものです。

健康づくり事業（ヘルスパイオニアタウン事業）は、平成四年度から国の指定を受け三カ年の最終年度をむかえました。鷹歩会百三十名、生命の貯蓄体操八十八名、トマトの会三十六名と多数の会員による自主運営により順調に推移しております。



寒さに負けず
家族みんなで

参加しませんか



1月1日
元旦マラソン



■種目 ①ファミリーコース
(二km) ②チャレンジコー
ス(四km)

■受付・開会式 中央公民館
時) ▼開会式 午前十時

▼スタート ①二kmコース・
午前十時三十分 ②四kmコー
ス・午前十時五十分

■参加料 三百円(ゼッケン
代として当日納入)

※ゴール後中央公民館で完走
証を交付します。

1月8日
凧あげ大会

■会場 鷹巣町陸上競技場

平成7年綴子大太鼓 叩き初め

新年を迎え、冬期間大太鼓の館に多くの入館者を期待し、安全と大いなる誘客を祈願して綴子大太鼓の叩き初めが行われます。

- 日時 1月2日(月) 9:30~
- 場所 大太鼓の館
- 内容
 - 9:30 綴子神社・神官より祈禱
 - 10:00 鷹巣町長・新年のあいさつ
 - 10:30 綴子上町・下町による叩き初め
 - 12:00 お神酒披露
 - 13:00 実演
 - 14:00 終了



大太鼓の館内で勇壮なバチさばきが披露されます

1月29日
町民スキー大会

■会場 薬師山スキー場

■日程 ▼開会式 午前九時
▼競技開始 午前九時三十分
▼競技終了 午後三時

■日程 ▼受付 午後一時~
▼競技開始 午後一時三十分

■競技方法 一チーム三名以
内・一回の競技時間は五分

■凧の規格 手作りであれば
制限なし(既製品は不可)

■参加申込 一月六日(金)

まで別紙申込書で鷹巣町教育
委員会生涯学習課(☎六二一
一一一)内線四二五)に申し
込むこと(当日の申込も可)

■種目 「小学校の部」▼四
~六年男女 大回転と距離

▼地区対抗リレー男女

「中学校の部」▼男女大回転

と距離 「一般男子の部」▼

青年(高校生~三十歳)・▼

成年(三十一歳~四十歳)・▼

壮年一部(四十一歳~五十

歳)・▼壮年二部(五十一歳

以上) 大回転と距離 「一

般女子の部」▼女子一部(競

技未経験者)・▼女子二部(競

技未経験者) 大回転 ▼女

子一部(三十歳以下)・▼女

子二部(三十一歳以上) 距

離 「地区対抗リレー」▼小

学校男女各一名・一般二名

「職場対抗リレー」▼混合で

も可 「歩くスキー」▼幼児



■申込 一月十三日(金)ま
で鷹巣体育館(☎六二一三
八〇〇)に申し込みください。

~高齢者 ※多数の賞品が当
たります。(申込は当日)

「遊競技」▼みかん拾い ▼

ソリすべり競技 ▼スキーレ

クリエーション

◆頭の体操にどうぞ◆

クロスワードパズル

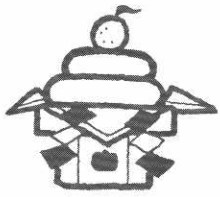
図書券が当たる
テレカ



●パズルの解き方

タテとヨコのキーをヒントにして、クロスワードを解いてください。二重枠になってるA-J(十文字)を並べかえるとあることばになります。それが答えです。

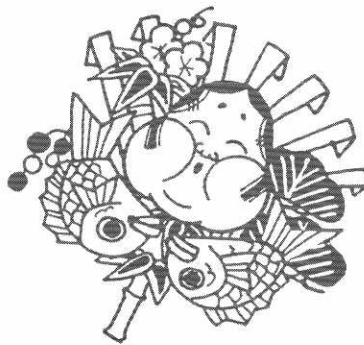
■応募方法 ハガキに答えと住所・氏名・年齢・職業・小中高生は学校名と学年を書いて、〒〇一八―三三 鷹巣町花園町十九―一 鷹巣町役場広報係まで送ってください。
正解者の中から抽選で五名の方に図書券を、さらに五名の方にテレホンカードをプレゼントします。
■締め切り 一月十五日(日)



タテのキー

- 1 鷹巣駅前ですいつも客待ちをしている自動車
- 2 首都はアンカラ、人口約五千四百万人の中東の共和国
- 3 ○○の耳に念仏
- 4 緑色の宝石「翡翠」と書きます
- 5 ぶどう酒のこと
- 6 人形の○○ちゃんのパイフrendはマサトくん
- 8 お正月や結婚式などでこのエビの料理がでてきます
- 12 海外旅行をするとかかります「○○ポケ」
- 13 過去・現在・○○○
- 14 ギネスブックにも載っています 綴子の○○○○○
- 15 ハガキに○○○○○を書かないと相手に届きません
- 16 パスカルのことば「人間は考える○○」
- 18 「楓」の読み方は付録、景品のこと
- 20 ぬけ目なく、すばしこいこと「○から鼻へ抜ける」

- 24 すねの前の方のことを「むこう○○」と言います

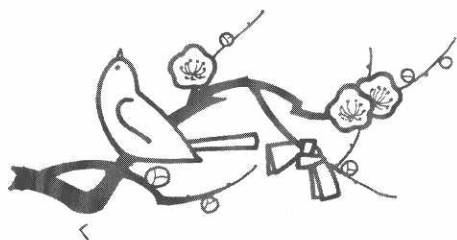


ヨコのキー

- 1 和服などをしまうとき包む丈夫な紙
- 4 鷹巣町の鳥は鷹、花は○○○
- 7 足の不自由な方が使います
- 9 これを干したのがスルメ
- 10 おすもうさんが土俵で踏みます
- 11 一月十五日は○○○○の日
- 13 うわべをかざった行いをすること「○○を張る」

- 15 算用数字は○○○○数字とも言います
- 17 信号の色は赤・○○・黄色の三色
- 18 ことがらが進む道筋のこと・プロセス
- 19 クジラはこれを吹きます
- 21 釣りのとき釣り針につけるもの
- 22 英語ではeye
- 23 「おいしい」の反対の意味のことば
- 25 溺れて死ぬこと
- 26 三色の猫の名前

1	2	3	4	5	6
	A	G		F	
7			8		9
10			11	12	
		13			14
	15		16		17
18	D		19	20	
21			22	23	24
25			26	E	



2日(金) 鷹巣西小学校の『車イスを贈る集会』に出席、学校並びに地域ぐるみでアルミ缶回収をし、今回3台目の車イスを町社会福祉協議会へ寄贈していただいた。同校のリサイクル運動と社会福祉を両立させた活動に対してお礼のことばを述べた。

2日(金) 鷹巣町新総合発展計画策定委員会に出席。

4日(日) 第12回公民館まつりと生涯学習交流会に出席、「公民館活動は地域の人達が何を考え何を必要としているかをおしはかる大切なもの。実りある交流会にしてほしい」とあいさつ。

5日(月) 鷹巣町青少年問題協議会に出席、関係者並びに町民一体となり「いじめ」問題等をはじめ、青少年の健全育成に取り組む必要性を確認し合い、具体策を検討することとした。

6日(火) 経済審議会『少子高齢社会委員会』に出席。

7日(水) 鷹巣阿仁広域市町村圏組合臨時議会並びに全員協議会に出席。

8日(木) このたび100歳の長寿を迎えられた小林ミヨさん(材木町)と成田キツさん(住吉町)それぞれのお宅を訪れ、「まだまだ元気でいてください」と励ましのことばを述べるとともに祝品を贈り長寿を祝福した。

9日(金) 鷹巣町森林組合『山神祭』に出席。

12日(月) 町議会12月定例会が開会、行政報告をした後、平成6年度一般会計補正予算案など18議案を提案した。

14日(水) 15日(木) 議会定例会一般質問に登壇、各会派議員(7名)それぞれの質問に対し答弁をした。

あなたの作品を募集します

日頃読んでいる本や今まで読んだ本について感想文・体験文を書いてみませんか。多数のご応募をお待ちしております。

■**読書感想文** 読んだ本(作品)についての感想を綴ってください。ただし、教科書・雑誌は対象外とします。

■**読書体験文** わたし(我が家)の読書生活、読書の思い出や生き方に影響を与えた本など、読書によせる考え・体験を綴ってください。

■**応募資格** 原則として町内に在住している方、または通勤通学している方。

■**応募区分** 小学校の部/中学校の部/高校の部/一般の部

■**応募方法** ①四百字詰原稿用紙(小学校の部は三枚以内、その他の部は五枚以内)を使用

用のこと ②小中学生は学校を通じて応募すること ③作品には応募票を添付のこと

■**応募先** 鷹巣町立図書館(たかのす風土館内)

■**応募締切り** 一月三十一日

■**審査** 主催者が委嘱した審査員によって行います。

■**発表** 二月下旬までに「町広報」等で発表するとともに所属する学校を通じて通知、一般の応募者には直接通知します。

■**表彰** 特選、入選、佳作とし賞状と記念品を授与。表彰式は三月十一日(日)、たかのす風土館ホールで行います。

■**お問い合わせ先** 鷹巣町立図書館(☎六二二三三二一)

■**主催** 鷹巣町立図書館・鷹巣町読書会

■**後援** 秋北新聞社・県北新聞社

町立図書館からのお知らせ

〈1月の図書館〉 ○は休館日

日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑
㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘
㉙	㉚	㉛				

●12月28日～1月4日

年末年始

●16日

成人の日振替

●25日～31日

蔵書点検

のため休館させていただきます
ご迷惑をおかけしますがよろしく
お願いいたします



〈おはなしててこい〉

とき 1月21日(土)
ばしょ ファルコン会議室
じかん 2:00～3:00
ないよう えほんのよみきかせ
かみしばい
てあそびうた ほか

～お問い合わせは鷹巣町立図書館(☎62-3311)へ～

青少協に専門委員会設置

—テレクラ・いじめ問題に対応—

鷹巣町青少年問題協議会（会長 岩川町長）ではこのほど、社会的に大きな問題になっている「テレクラ」（テレフォンクラブ）といじめの問題に対応し、防止運動の具体策を検討するため協議会内に専門委員会（委員 八名）を設置しました。

この委員会は、テレクラを利用した性非行により秋田市で女子高校生らが補導されたことから、同協議会で青少年の非行防止の必要性が認識されたことと、いじめの問題

についてには命にかかわる問題であることから問題を未然に防ぐことを目的に設置されたものです。

専門委員会では一月十一日に初会合を開き、防止策の具体化を検討する予定です。

なお、同協議会では、町民の皆様と一体となって性非行防止、いじめの問題など、青少年の健全育成に全力をあげる決意ですので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

百歳の長寿を祝福

—小林ミヨさん・成田キツさん—



小林ミヨさん



成田キツさん

このほど、町在住で百歳になられた二人の女性に町ではお祝い品をお贈りし、長寿を祝福しました。

このお二人は小林ミヨさん（材木町）と成田キツさん（住吉町）。

小林さんは明治二十七年十一月二十日生まれで、食べ物に好ききらいがなくテレビを見たり、歌を歌ったりするのが好きとのことでした。また、成田さんは明治二十七年十二月七日生まれ、テレビを見るのが趣味で、一日三回ご飯をきちんと食べるのが長寿の秘訣とのことでした。

岩川徹町長がそれぞれのお宅を訪問しお祝い品の羽毛ふとんを手渡しましたが、お二人ともご家族や親戚の人たちと共に百歳の長寿を喜び合っていました。これからもお元気で長生きしてくださいね。

佐藤利子さんに毎日農業賞

—作業日誌に夢を綴る—

毎日新聞社と（財）富民協会が主催し、農業の未来を展望する農業従事者の体験記録に贈られる「毎日農業記録賞」に、佐藤利子さん（三十七歳・与助岱）の作品が地区入賞しました。

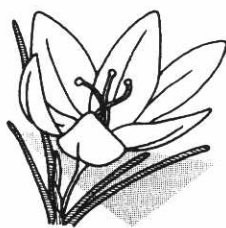
佐藤さんの応募作品は「夢・蒔く・人になりたい」というタイトルで、昭和五十一年から書き続けている作業日誌に自分の農業に対する思いや夢などを綴った内容になっています。また、佐藤さんは町内の農業を学ぶ婦人グループ「ALG」の代表として積極的に活動しておられ、今回の受賞についても「これからも頑張っていきたいです」と抱負を語っていました。



健康広場



福祉保健課からのお知らせ



クロッカス

生き生き健康教室が開催中

どなたでも参加できますので誘いあつてご参加ください

(受講料は無料です)

〈場所と時間〉 中央公民館・午後一時～三時三十分

○第二回・一月十二日(木)

▼「成人病になる人、ならない人」

健康教育コンサルタント・保健婦 村田陽子

○第三回・一月二十七日(金)

食生活改善推進協議会トマトの会による健康劇

▼「骨粗しょう症とその予防」

秋田大学医学部付属病院医師 村井 肇

○第四回・二月十六日(木)

▼「トータルで考えよう、ガン予防」

北秋中央病院診療部長 副島清治

○第五回・二月二十四日(金)

▼「健康づくり実践グループ交流会」

鷹巣町内の健康づくりに励んでいる組織・個人の方に学ぶ

※お問い合わせは、役場福祉保健課係(☎六二一一

一一内線一三三三)へ

献血にご協力お願いします

(一月の献血車巡回日程)

■一月十二日(木)・成分献血

○午前十時三十分～午後四時 鷹巣町役場前

■一月十九日(木)・四百cc献血キャンペーン(二百cc

献血もできます)

○午前十時三十分～十二時 北秋田総合庁舎前

○午後一時～二時三十分 鷹巣町役場前

○午後二時四十分～四時 北秋中央病院前

※成分献血の希望者は、あらかじめ役場保健係(☎六二一一
一一一一内線一三三三)にお申し込みください。

福祉メモ

17

ワーキンググループについて

各グループの具体的な取り組みについて紹介しております。

〔第六グループ〕

昨年十一月末に、鷹巣町が旧鷹小跡地に建設する地域福祉センターの起工式が行われ、仕事が本格化しています。これを、皆様と共に心より喜びたいと思います。

このセンターは、「竜森地区コミュニティセンター」に

続き、当町の福祉サテライト(衛星)計画に基づく二番目の施設です。今秋完成予定でデイサービス(入浴サービス)給食サービス、機能訓練などが受けられます。完成後は町

社会福祉協議会の移転も見込まれており、ボランティア研修養成、地域福祉活動支援事業や福祉情報の提供事業などの根拠地となります。

第六ワーキンググループでは、このセンターができる前から建物をごようにしたら

効率よく利用し運営していかれるかを考えています。他町村の総合福祉センター等を視察して建物の長所・短所を聞き特に不便を感じている箇所を念頭に入れて当町のセンターに生かそうとしています。また、高齢者だけでなく身障者の方も機能を訓練し、再び家庭へ、社会へ復帰できることを期待しています。

当町は他町村に比べてヘルパーの人員が多く安心感があります。ボランティアの輪をもっと広げ、介護のボランティアを大きな団体にし、在宅介護をもっと身近なものにしたいと望んでいます。

安心感の漂う交流の場として、広く町民に利用されるセンターになるのが楽しみに待たれるところです。

鷹巣町福祉のまちづくり
ワーキンググループ
(福祉行政サービス)

1月の健康ごよみ

■ 9日(月)・23日(月)

○ 母子健康手帳交付と第1回妊婦教室

場所—中央公民館保健相談室

受付時間—午後1時～1時10分

(妊婦教室終了は3時)

内容—母親の心がまえ、妊娠中期の生活指導
母乳栄養について/その他

持参—印鑑

■ 10日(火)

○ 2歳児歯科健康診査

対象—平成4年10月～11月生まれのお子さん

場所—中央公民館ホール

受付時間—午後1時～1時15分

持参—母子健康手帳、問診票、歯ブラシ、バスタオル

■ 11日(水)

○ 3歳児健康診査

対象—平成3年11月～12月生まれのお子さん

場所—鷹巣保健所

受付時間—午後1時～1時20分

持参—母子健康手帳、問診票、バスタオル

■ 11日(水)・25日(水)

○ 健康相談と健康教育

場所—中央公民館保健相談室

時間—午前10時～12時/午後1時～3時

内容—「禁煙、それは愛」

健康相談、血圧測定、慢性病予防教室
(ビデオによる健康教育)

■ 12日(木)

○ 第2回妊婦教室

場所—中央公民館保健相談室

時間—午前10時～午後3時

持参—母子健康手帳、昼食(主食のみ)、トレパン、テキスト

〔予防接種のお知らせ〕

■ 19日(木)・20日(金)

○ 3種混合(ジフテリア・破傷風・百日せき)

対象—生後24カ月～48カ月のお子さん

※第Ⅱ期の接種となります

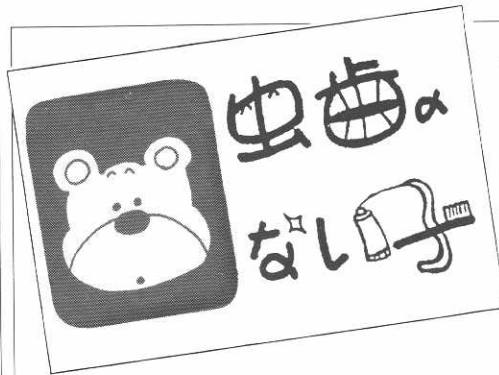
(19日) 鷹巣地区以外

(20日) 鷹巣地区

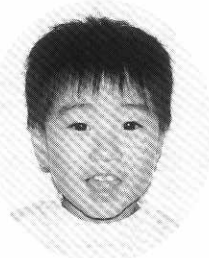
場所—中央公民館ホール

受付時間—午後1時～2時

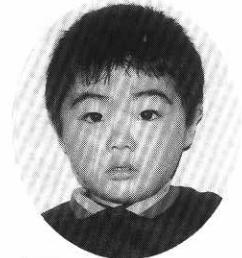
持参—母子健康手帳



～11月2日に行われた3歳児健診で、虫歯のなかったお子さんをご紹介します～



平成町
ふくだ こうやちゃん



品類
みやこし こうへいちゃん



大堤
みさわ りなちゃん



新田中
ささき みほちゃん

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分～9時)

○ 応急の診療を要する患者。
○ 往診はしておりません。
○ 仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に

※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。

1月曜日	医療機関名	電話番号
1 日	北秋中央病院	62-1455
2 月	北秋中央病院	〃
3 火	北秋中央病院	〃
4 水	佐藤外科消化器科医院	62-1420
5 木	藤原医院	62-1210
6 金	佐々木産婦人科医院	63-0105
7 土	盛岡外科医院	62-1101
8 日	としま医院	62-1267
9 月	鷹巣病院	62-1210
10 火	戸嶋産婦人科医院	62-1123
11 水	近藤医院	62-1155
12 木	北秋中央病院	62-1455
13 金	遠藤クリニック	63-0515
14 土	津谷内科	62-2261
15 日	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400

暮しの情報

INFORMATION

町新総合発展計画 に関するアンケート にご協力を



町では平成八年度からの新総合発展計画策定にあたり、町民の意向を計画に反映させるためアンケート調査を千六百二十人（無作為抽出）の方々にお願いしております。

アンケート調査用紙が送付された方は調査にご協力くださるようお願いいたします。

※お問い合わせは役場地域政策課（☎六二一一一一一内線二二二二・二二三三）まで

水田耕作面積 移動届

平成七年度の水田耕作面積を把握するため、昨年中に売買・賃貸などにより水田面積に移動のある方は、一月二十

日（期限厳守）まで役場農林課農政係または各農協に届け出てください。
期限が過ぎてから提出されますと、一切の算定が平成八年度に計算されますので早めに提出してください。

建設工事の入札参加 資格審査申請書の 受付について

鷹巣町が発注する建設工事の入札参加資格審査は隔年としており、平成七年度は申請年次となっております。

指名競争入札に参加される業者は町が定める要件を満たしていることが条件となっております。受付する工種については次のとおりですので申請書類一式を添え提出願います。

■資格要件（次の要件を満たしていない場合は申請できません）
▽国または県の建設業許可の取得者
▽経営事項審査を受けている事業所（個人）
▽禁治産者または準禁治産者でない者、破産者で復権を得ている者

■受付する工種
▽一般土木工事
▽建築一式工事
▽電気工事
▽给排水暖冷房衛生設備工事
▽網構造物工事
▽舗装工事

問い合わせは
ハローワーク たかのす
（大館公共職業安定所鷹巣出張所）
TEL 0186-62-1240

ハローワーク求人情報

【男子】

【女子】

職種	年齢	基本給(万円)	資格免許	業務内容	就業所
自動車販売	20歳～30歳	15～19	普通免許	自動車整備・売板金・販売	大館市
ガリンスタンド業務全般	18歳～28歳	13.3～17.68	普通免許	石油製品、LPガス等の販売	鷹巣町
寿司職人(見習可)	18歳～40歳	15～18	不問	にぎり寿司製造販売	鷹巣町 合川町
調理及び計会	18歳～55歳	12.5	普通免許	ホテル業	合川町
集配手	20歳～40歳	15～25	普通免許	貨物運送業	鷹巣町
長距離手	20歳～40歳	25～35	大型免許	貨物運送業	鷹巣町
裁断	18歳～35歳	13.3～18.3	普通免許	婦人服の製造	合川町
建設機械運転員	18歳～50歳	13.86～16.5	大型免許 車輛系免許	珪藻土採掘運搬	鷹巣町
機械オペレーター	18歳～35歳	12～18.5	普通免許	特殊鋼、非鉄金属等の販売及び製造加工	鷹巣町
雑務(パート)	60歳以下	時給 円 700～800	普通免許	婦人衣料店販売	鷹巣町

職種	年齢	基本給(万円)	資格免許	業務内容	就業所
看護婦・准看護婦	18歳～40歳	12.5～25	正・准看護婦	内科、皮膚科を中心とした診療所	鷹巣町
専務及び選卵	18歳～35歳	12～12.5	普通免許(無くて可)	鶏卵の選卵及び販売	鷹巣町
販売スタッフ	25歳～35歳	16～18	普通免許	テレビゲーム・中古ソフトの販売、買取	鷹巣町
調理及び計会	18歳～55歳	12.5	普通免許	ホテル業	合川町
パチンコ係	18歳～40歳	13.8～14.8	不問	遊戯業	森吉町
集配手	20歳～40歳	15～25	普通免許	貨物運送業	鷹巣町
縫製工(ミン、アイロン等)	18歳～45歳	12.5～15	不問	繊維製品製造(スーツ、ジャケット等)	合川、鷹巣 森吉町工場
検査仕上	18歳～35歳	10.9～14.4	不問	精密ゴム製品製造販売業	森吉町
組立・検査工(パート)	18歳～45歳	時給 円 600	不問	通信機器用トランスの製造	鷹巣町
食器洗い及び調理手(パート)	18歳～50歳	時給 円 800～900	不問	寿司店	鷹巣町

秋田内陸線縦貫鉄道(株)から

～お気軽にご参加ください～

●小樽と札幌雪まつりの旅 2月9日(木)～12日(日)

募集人員 45名様 (最少催行人員30名)

旅行代金 大人 49,800円 (鷹巣から)

小人 43,900円

●Let's Go!

APPI SNOW PARADISE 2月17日(土)

募集人員 40名様 (最少催行人員30名) ～18日(土)

旅行代金 大人 23,500円

※どちらのコースも添乗員が同行してお世話いたします。

※お問い合わせ・お申し込みは秋田内陸線観光(☎82-3666)

または秋田内陸線鷹巣駅(☎63-0643)へ



▼造園工事▼一般塗装工事▼吹付工事▼路面表示工事▼機械器具設置工事▼電気通信工事▼さく井工事▼水道施設工事

■申請書に添付する書類 ▼建設業許可証明書または許可書の写▼経営事項審査結果通知書の写▼工事経歴書(過去二年間)▼営業所一覧表▼技術職員名簿▼技術者免許証の写(各個人毎のコピー)▼業者カード▼建設業退職金共済事業加入・履行証明書▼健康

保険・厚生年金保険保険料納入証明書▼町税納税証明書▼使用印鑑届

※一月四日～二月二十八日まで、役場財政課契約係まで提出ください(提出部数は各一部)

香典返し

このほど次の方々から、香典返しとして町社会福祉協議会へ寄付金をいただきました。ご芳志に感謝いたします。

- ▼新田中||佐藤磨さんから亡父梯一さんの香典返し
- ▼四渡||成田秀敏さんから亡父慎一郎さんの香典返し
- ▼旭町||藤原孝一さんから亡妻圭子さんの香典返し
- ▼小ケ田||中嶋政夫さんから亡妻チエさんの香典返し
- ▼摩当||福原善一郎さんから亡母ヤスさんの香典返し
- ▼李岱||畠山寿一さんから亡母サトさんの香典返し

お詫びと訂正

十二月一日号掲載の「慶弔だより」で、橋本司さんの住所をあげの町から与助岱に訂正のうえ、お詫びいたします。

シルバー人材センター

設立をめざして

(4)

〈大館市の例〉

大館市シルバー人材センターは、昭和五十六年一月に秋田県で初のセンターとして事業を開始しました。

現在、会員は三百七十三名(平均年齢六十六・七歳)で、昨年の契約高は一億六千万円を超え、延べ人員三万五千人余りが就業しています。ていねいな仕事ぶりが発注者から好評を得ており、会員一人当たりの月平均就業日数七・九日は県内でトップです。

ある会社では、芝刈り、製品の移動、書類の整理、ハガキのあて名書きなど多種類の仕事を発注しましたが、いずれも一生懸命に仕事をこなしてくれたと、とても感謝しています。

放置自転車やピカピカに再生する独自事業も行っていますが、毎回即日売り切れで市民に大好評です。



また、会員同士で趣味のサークル活動や文化祭を開催するなど、仕事以外でも楽しく交流を深めています。

十四年間の実績からセンターの活動が地域によく理解され、順調に運営されている大館市の例に学びながら、鷹巣阿仁地域でも、住民のみなさんに喜ばれるシルバー人材センターを設立したいと考えています。

〔お問い合わせ〕

商工観光課商工振興係

(☎六二一一一一)

内線二七二

慶弔だより

12月1日 15日・敬称略



誕生おめでとう

ございます

千葉美紗貴 (博由美子) 長女 中屋敷

小塚紳太郎 (省務子) 長男 舟場

畠山 啓太 (政明則美) 三男 黒森

山本 のどか (英幸) 長女 内幸町

藤嶋 生未 (廣一秀美) 二女 前野

岩本 かずあき (守きみえ) 長男 岩脇

亀山 わたる (金治由美子) 長男 田沢



二人の前途を

祝福いたします

小林 尚 平成町

福島 亜希子 平成町

佐々木 正人 太田

櫻井 久美子 比内町

吉田 和人 三吉町

武石 めぐみ 上小阿仁村

おくやみ申し上げます

佐藤 勝春 (31歳) 吉ヶ沢

畠山 サト (81歳) 李岱

福原 ヤス (93歳) 摩当

三澤 實 (65歳) 大堤

佐藤 正 (70歳) 妹尾館

山口 スエ (85歳) 小ヶ田

櫻庭 エミ (53歳) あげぼの町

長谷川七郎 (75歳) 舟見町

堀内福二郎 (82歳) 上町

石川 惣一 (73歳) 上町

冬の体力づくり テニス教室に参加しませんか

硬式テニス教室

- 日程 1月13日～3月24日(計10回・毎週金曜日)
- 時間 午後7時～9時
- 場所 鷹巣体育館
- 対象 鷹巣町在住もしくは鷹巣町に勤務されている方で、初心者及び初級者の方
- 参加料・スポーツ保険料 1,200円(受付時に納入してください)
- 準備するもの 内履き、タオル、ラケット(無い方には貸与します)
- お申し込み・お問い合わせ先 鷹巣体育館(☎62-3800)
鷹巣町役場
(☎62-1111、内線335 三沢)

ママさんソフトテニス教室

- 日程 1月26日～3月17日(計16回・毎週木・金曜日)
- 時間 午前10時～12時
- 場所 鷹巣体育館
- 参加料・スポーツ保険料(受付時に納入してください)
- お申し込み・お問い合わせ先 鷹巣体育館(☎62-3800)
長岐信子(☎62-2013)
- ※初心者、経験者問わずどなたでも参加できます。
- ※ラケットの無い方には貸与します。



地域が輪になる「ボランティア大学」 受講生を募集します

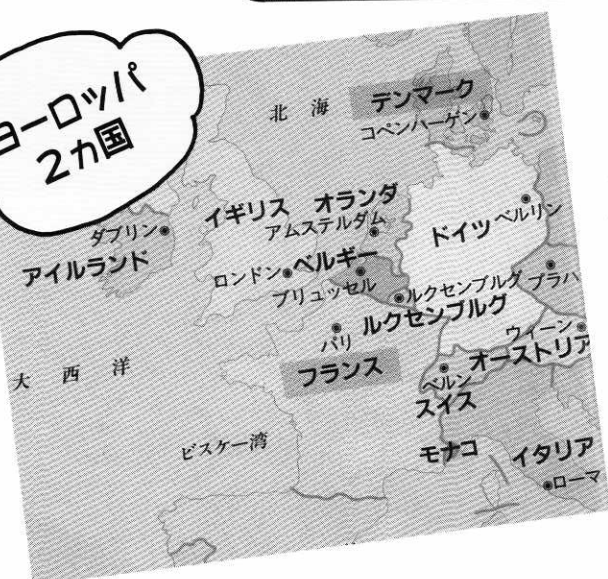
—あなたにできるボランティア、一緒に考えてみませんか—

- ◆日時 1月22日(日)
午前10時～午後3時
- ◆場所 鷹巣阿仁広域交流センター講堂
- ◆内容
 - ・私のボランティア体験談
 - ・地域福祉学習
 - ・グループ別体験学習
- ◆ボランティアに関心のある方ならどなたでも参加できます。
1月19日(木)まで、社会福祉協議会事務局(☎63-2109)へ申し込んでください。



海外視察研修派遣事業

ヨーロッパ
2カ国



参加者を募集します

町では、誰もが安心して暮らしていけるために、在宅ケア（ホームヘルプサービス、訪問看護など）の充実、施設のあり方、ボランティア組織の確立や女性の社会参加などについて北欧の福祉先進国を視察します。

歴史と伝統のあるデンマークの福祉を自分たちの目で学んでみませんか。

- ◆主催 鷹巣町
- ◆対象 鷹巣町民
- ◆期 日 3月3日(金)～11日(土)〔9日間〕
※3日程、日程が早まる場合があります。
- ◆研修国 デンマーク・フランス
- ◆募集人員 15名以内
- ◆募集期間 1月5日(木)～25日(水)
- ◆希望者多数の場合は抽選となります。

- ◆参加者負担金 約190,000円
(旅費の1/2程度)
※多少増減があります。
- ◆参加者負担金納入期日 2月15日(水)
- ◆お問い合わせ先 役場地域政策課地域振興係
(☎62-1111 内線232・233)

◆研修コース◆

